

経済学部 経営情報学科 教育における三つの方針

学位授与方針 [学士 (経営情報学)]

- 知識・理解
 - 人間と「自然・環境」「思想・文化」「地域社会」「国際社会」「歴史」との関係性の総合的な理解、環境問題に関する正しい知識など、21世紀の市民として必要な教養を身につけている。【総合的知識・理解】
 - 経営学、情報科学及び会計学に関する基本的知識を有し、経営に関する問題について、専門知識に基づいた議論をすることができる。【専門分野の知識・理解】
- 技能
 - 企業経営に関する諸問題を解決するためのシステム分析能力、財務的・会計的な分析能力を身につけている。【専門分野のスキル】
 - 情報社会における情報及び情報システム、インターネットの特性を理解し、それらを活用する技能を身につけている。【情報活用能力】
 - 自然現象や社会的現象に関する量的調査の基本的な考え方と分析技法を身につけている。【数量的スキル】
 - 英語（読む、書く、聞く、話す）を用いて、日常生活のニーズを充足することができる。【英語力】
- 思考・判断・表現
 - 企業経営や社会に関する問題を自ら設定し、それらの問題を分析し、実践的な解決策を考えることができる。【課題発見・分析・解決力】
 - 自らの研究内容を、口頭および文章で明確に表現し、説明できる。【プレゼンテーション力】
- 関心・意欲・態度
 - 企業経営や社会に関する知識を用い、企業や社会に貢献していく意欲を持った人間として行動ができる。【実践力（チャレンジ力）】
 - 自分自身で心身の健康の保持増進を行うことができる。【自己管理能力1】
 - 「人間全般」や自分自身についての省察を深め、自らの持つ可能性を見出し、将来のキャリア構築に向けて積極的・主体的に準備行動ができる。【自己管理能力2】
 - 人間の総合的な理解を通して得られた責任感、倫理観を自覚し、その深い理解をもって帰属する社会において積極的に行動できる。【市民としての社会的責任・倫理観】
 - 企業経営や企業を取り巻く諸問題に関する高い関心と探究心を持っている。【生涯学習力】
 - グループ内で協力し、継続的に学習できる。【コミュニケーション力】

教育課程編成・実施方針

経営情報学科では、教育目標を達成するため、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。

- 「基盤教育科目」から40単位以上、「専門教育科目」から84単位以上を修得する。
- 「基盤教育科目」は、卒業後の生き方や社会での活躍を支える人間性・主体性・社会性の育成を目的とする科目群とする。「教養教育科目」から8単位以上、「情報教育科目」から2単位以上、「外国語教育科目」から8単位以上を修得する。（詳細は別記）
- 「専門教育科目」は、1～2年次においては、経営学・情報科学・会計学の専門教育科目の基礎知識を総合的に修得する。3～4年次において各自の興味や関心あるいは将来の進路に応じて、さらに専門的な科目を学習するということを目的として、「必修科目」「選択科目A」「選択科目B」の3つの科目群で構成する。各科目群の内容は以下のとおりとする。
 - 必修科目

1年次から4年次までの積み上げ方式の学習を保障する中核科目群とする。「選択科目A」を学習する基礎となる経営学、情報科学、会計学の基礎的能力を身につけるため、経営学入門、マネジメント論基礎、企業論基礎、情報科学入門、プログラミングⅠ、数学、簿記論Ⅰ・Ⅱを専門基礎科目として1年次に配置している。また、課題分析・解決能力、プレゼンテーション能力、実践力、コミュニケーション能力を育成していくために、1年次より入門演習を設け、2年次にはゼミナールへの導入教育として基礎演習を配置している。3～4年次には、経営学、情報科学及び会計学の専門性を培う、専門演習Ⅰ・Ⅱと演習形式の卒業研究A・Bを必修としている。必修科目は、28単位である。
 - 選択科目A

主な系列としては、経営系、情報系、会計系の3分野の科目群で構成する。3つの科目群では、体系的・系統的

に専門的知識を深めていく専門科目を2・3年次に配置する。

経営系では、2年次にマーケティングⅠ・Ⅱ、経営組織論、経営戦略論、企業論Ⅰ・Ⅱ、企業ファイナンスⅠ・Ⅱ、3年次には人的資源管理論、国際経営、中小企業論、証券市場論、事業計画論、地域企業分析などの応用科目を設けている。

情報系では、2年次にオペレーションズ・マネジメント、コンピュータシステム、プログラミングⅡ、データベース、データ構造、Webプログラミング、3年次には情報経営、情報ネットワーク、企業データ分析、システム分析、システム設計などの応用科目を設けている。また、数学の系列では、1年次の2学期に経営統計、3年次の2学期に経営数学を設けている。

会計系では、2年次に財務会計論Ⅰ・Ⅱ、原価計算論Ⅰ・Ⅱ、工業簿記、簿記Ⅲ、会計監査論、3年次には管理会計論、国際会計論、税務会計、情報会計、経営分析などの応用科目を設けている。

補助的な系列としては、経営・情報・会計の主たる科目の理解を深めるために経済学系科目、法律系科目、英語系科目を配置している。

40単位以上を修得し、40単位を超えた科目については選択科目Bに振り替えることができる。

□ 選択科目B

「選択科目A」における課題分析・解決能力、実践力を形成する上で必要となる専門的知識・技能の獲得、また、生涯学習力の向上を目的とした科目群とする。経済学系科目、法律系科目、政策科学系科目、英語スキル科目等を2・3年次を中心に配置する。16単位以上を修得する。

入学者受入れ方針

経営情報学科では、次のような学生を求めています。

- 企業経営や社会の諸問題に大いに興味を持ち、主体性を持って継続的に学習する学生
- さらに、企業や社会に貢献すること、企業経営や社会の諸問題を解決する能力を培うことに意欲的で積極的な学生